

内令第五百四十九號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

潜水艦、一等ノ部中「伊六十一型」ヲ「伊六十二型」ニ改メ同項中「伊號第六十一、」ヲ削ル
同、二等「呂壘三十型」ノ項ヲ左ノ如ク改ム

呂壘第三十一

掃海艇、第七號型ノ項中「第十九號、第二十號、第二十一號、第二十二號」ヲ削リ第十三號型ノ次
ニ左ノ一項ヲ加フ

第十九號型 第十九號、第二十號、第二十一號、第二十二號

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第五百五十號

特務艦類別等級別表中左ノ通改正ス

0664

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

運送艦、足摺型ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

杵	埼	型	杵	埼
			野	埼

(内令提要卷三、三九頁参照)

内令第五百五十一號

海軍技術研究所處務規程中左ノ通改正ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條第二項中「所員、」ヲ「部員、副部員、」ニ改ム

第十四條中「第八條」ヲ「第十條」ニ改ム

第十六條中「會計課」ヲ「會計部」ニ改ム

内令

五三五

0665

第十七條中「醫務課」ヲ「醫務部」ニ改ム

第十五條ヲ削リ第八條ヲ第十條トシ以下順次繰下グ

第八條 總務部第一課ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 各部ノ事務ノ綜合統一ニ關スルコト
- 二 各研究部ノ研究及實驗ニ必要ナル各種物件ノ製作ノ按配及兵器、工作物タル有線通信裝置其ノ他此等ノ材料ノ造修ノ按配ニ關スルコト
- 三 公文書類ノ接受及發送ニ關スルコト
- 四 官印及機密書類ノ保管ニ關スルコト
- 五 所内ノ保安及取締ニ關スルコト
- 六 人事及一般教育ニ關スルコト
- 七 勞務ノ一般事項ニ關スルコト
- 八 工具ノ募集ニ關スルコト
- 九 運輸、交通及通信ノ連絡及統一ニ關スルコト
- 十 所内ノ一般設備ニ關スルコト

0666

十一 出師準備計畫ニ關スルコト

十二 購買物品検査ノ事務ニ關スルコト

十三 雜役船ニ關スルコト

十四 前各號ノ外他ノ部課ノ所掌ニ屬セザルコト

第九條 總務部第二課ハ左ノ事務ヲ掌ル

一 研究實驗ノ連絡ニ關スルコト

二 研究機關ニ關スル調査及利用ニ關スルコト

三 研究業績ノ調査及整理ニ關スルコト

四 研究資料ノ蒐集、整理及保管ニ關スルコト

五 文獻ノ整理及保管ニ關スルコト

(内令提要卷一、二四ノ一頁參照)

内令第五百五十二號

海軍工廠處務規程中左ノ通改正ス

内令

五二七

0667

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十條中「鑄物」ノ下ニ「特殊ノ兵器鑄物及大型鑄物」ヲ加フ

第二十八條ノ二 鑄物實驗部ハ船體、機關及兵器ノ鑄物（航空關係金屬鑄物及製鋼實驗部所掌ニ屬スル鑄物ヲ除ク）ノ實驗ニ關スルコトヲ掌ル

第三十三條 醫務部ハ診療及保健竝ニ衛生ニ關スルコトヲ掌ル其ノ所掌事項ノ區分及細別左ノ如シ

醫療課

- 一 従業員ノ診療及健康相談ニ關スルコト
- 二 傭人扶助令及海軍共濟組合規則ニ依ル公傷病等差策定及審査ニ關スルコト
- 三 所掌事項ノ出師準備計畫ニ關スルコト
- 四 所屬工作物ノ新築及改更ニ伴フ計畫ニ關スルコト
- 五 所掌事項遂行上必要ナル重要書類及規程類ノ保管及整備ニ關スルコト
- 六 治療品及通常物品ノ出納及保管ニ關スルコト
- 七 醫務部所屬ノ雇員、傭人及工員ノ教育ニ關スルコト

0668

八 前各號ノ外衛生課ノ所掌ニ屬セザルコト
衛生課

一 従業員ノ身體検査ニ關スルコト

二 従業員ノ健康保持及體力向上ニ關スルコト

三 國民體力法ニ關スルコト

四 防疫ニ關スルコト

五 一般工場衛生、特殊中毒及災害防止ニ關スルコト

六 工場衛生ノ調査及研究ニ關スルコト

七 工員寄宿舎ノ衛生ニ關スルコト

(内令提要卷二、二四ノ五頁参照)

内令第五百五十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

五二九

0669

内令

五三〇

第二十四航空戦隊司令部

兵科特務士官、准士官

附

一人

内令第五百五十四號

昭和十六年内令第千二百二十六號中左ノ通改正ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ項中第二十四航空戦隊ノ次ニ

第二十六航空戦隊

ヲ加フ

吳鎮守府ノ項中

第三航空戦隊

ヲ削ル

舞鶴鎮守府ノ項中第十八戦隊ノ次ニ

第二十五航空戦隊

ヲ加フ

参照 前記内令ハ戰時編制實施中艦隊等ノ司令部附特務士官以下ノ補充鎮守府ノ件ナリ

0670



内令第五百五十五號

昭和十九年内令第百十八號
ニテ本號廢止

海軍聯合航空隊編制左ノ通改定セラル

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

隊名		海軍聯合航空隊編制						
航空隊名		霞ヶ浦海軍航空隊	筑波海軍航空隊	谷田部海軍航空隊	百里原海軍航空隊	名古屋海軍航空隊	鹿島海軍航空隊	北浦海軍航空隊
第十一聯合航空隊								

内令

五三一

0671

内令

第十二聯合航空隊							
大津	土浦	大分	宇佐	博多	大村	徳島	大井
海軍航空隊	海軍航空隊	海軍航空隊	海軍航空隊	海軍航空隊	海軍航空隊	海軍航空隊	海軍航空隊
第十三聯合航空隊							
鈴鹿							
海軍航空隊							

(内令提要卷一、七四頁参照)

内令第五百五十六號

潜水隊編制申左ノ通改定セラル

五三二

0672

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十五潜水隊ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令第五百五十七號

特設掃海隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十四掃海隊ノ項中「第二玉丸」ヲ削ル

(昭和十六年内令第千二百五十二號参照)

内令第五百五十八號

特務艦 杵崎

内令

五三三

0673

内令

五三四

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

特務艦 野 崎

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十七年四月一日

内令第五百五十九號

佐世保鎮守府在籍

伊號第六十一潜水艦

呂號第三十潜水艦

呂號第三十二潜水艦

右帝國潜水艦籍ヨリ除カル

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十七年四月一日

0674

内令第五百六十號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

二等潜水艦定員表其ノ二中「第三十、第三十一、第三十二」ヲ「第三十一」ニ改ム
運送艦定員表其ノ七ヲ別表ノ如ク定ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、四一八ノ七二頁参照)

内令第五百六十一號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十七中「第三十、第三十一、第三十二」ヲ「第三十一」ニ改ム

内令

五三五

0675

特修兵配置表其ノ十九運送艦ノ部中伊良湖ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

野 埼	梓 埼
一	三
一	三
〇	〇
〇	〇
〇	三
三	三
一	三
一	一
一	二
〇	〇
三	三
〇	〇
一	三
三	五
〇	〇
〇	〇
一	一
〇	〇
〇	〇
〇	〇
〇	〇
〇	〇
一	一

備考ニ左ノ一號ヲ加フ

三 本表ノ外梓埼、野埼ニハ掌衣糧兵普一ヲ配置ス

(内令提要卷一、四五四ノ五頁及四五六頁参照)

内令第五百六十二號

右特設巡洋艦トシ吳鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解カル

汽 船 金剛丸

右特設航空機運搬艦トシ横須賀鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解カル

汽 船 加茂川丸

汽 船 豊津丸

0676

右特設砲艦トシ横須賀鎮守府所管ト定メラルタル處之ヲ解カル

汽船 第十一京丸

右特設驅潛艇トシ舞鶴鎮守府所管トメタル處之ヲ解ク

汽船 第二玉丸

右特設掃海艇トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

汽船 秩父丸

右特設運送船(給糧船)トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

汽船 石狩丸

右特設運送船(給炭船)トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

汽船 海城丸

右特設運送船(給油船)トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

汽船 廣盛丸

右特設運送船(給炭油船)トシ佐世保鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

汽船 中和丸

内令

五三七

0677

右特設運送船(雜用船)トシ佐世保鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第五百六十三號

昭和十六年内令第七百八十號別表中左ノ通改正ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四防備隊ノ項特設監視艇ノ欄「甚生丸」ヲ削ル

参照 昭和十六年内令第七百八十號ハ特設特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令第五百六十四號

右特設敷設艦トシ吳鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解カル

汽船 天洋丸

漁船 甚生丸

0678

右特設監視艇トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

五三九

五三九
五三九
五三九

0679

第九十一表ノ三

運送艦定員表 其ノ七

(昭和十七年内令第五百六十號)

考 備	計		乗 組			特務 艦長				梓 埼 野 埼	梓 埼 野 埼		
	特 務	士 官	主 計	機 關	特 務	少 佐、 大 尉	中 少 佐	兵 曹	機 關 兵 曹			看 護 兵 曹	主 計 兵 曹
一 特務中少尉、機關特務中少尉及主計特務中少尉ハ夫々兵曹長、機關兵曹長及主計兵曹長ヲ以テ充ツルコトヲ得 二 必要ニ應ジ軍屬其ノ他特種ノ人員ヲ以テ本表乗員ノ一部ニ充ツルコトヲ得	五人	一人	一	二	二			一					
	四人	一人	一	一	二			一					
	兵	士 官	主 計 兵	機 關 兵	水 兵	主 計 兵 曹	看 護 兵 曹	機 關 兵 曹	兵 曹				
	三十二人	十八人	三	十一	十八	二	一	六	九				
	二十一人	十一人	二	八	十一	一	一	四	五				

0680

内令第五百六十五號 (所要ノ向ニ配付ス)	限 定 配 付
内令第五百六十六號 (所要ノ向ニ配付ス)	限
内令第五百六十七號 (所要ノ向ニ配付ス)	限
内令第五百六十八號 (所要ノ向ニ配付ス)	限
内令第五百六十九號 (所要ノ向ニ配付ス)	限
内令第五百七十號 (所要ノ向ニ配付ス)	限
内令第五百七十一號 (所要ノ向ニ配付ス)	限
内令第五百七十二號	
昭和十五年内令第八百八號中左ノ通改正ス	
昭和十七年四月一日	
海軍大臣 嶋田繁太郎	

内令

五五五

0681

海軍航空隊特別定員表其ノ一中土浦ノ欄隊附機關科尉官「二」ヲ「五」ニ、教官機關少佐、機關大尉「四内兼務三」ヲ「五内兼務三」ニ、教官機關科尉官「兼務二」ヲ「兼務五」ニ、教官海軍教授「四十七」ヲ「百十」ニ、教官特務中少尉「兼務三十」ヲ「兼務三十二」ニ、教官整備特務中少尉「兼務六」ヲ「兼務七」ニ、隊附特務中少尉「三十一」ヲ「三十三」ニ、隊附整備特務中少尉「六」ヲ「七」ニ、兵曹長「三十」ヲ「三十二」ニ、整備兵曹「百五十二」ヲ「百五十四」ニ、助教「二十八」ヲ「十八」ニ、士官「内兼務十八人」百七人ヲ「内兼務二十二人」百十四人ニ、特務士官「内兼務四十五人」九十三人ヲ「内兼務四十八人」九十九人ニ、高等文官「内兼務二人」五十人ヲ「内兼務一人」百十三人ニ、准士官「五十五人」ヲ「五十七人」ニ、下士官「七百三十人」ヲ「七百三十二人」ニ、判任文官「三十三人」ヲ「三十三人」ニ改ム

同表備考第一號中「(土浦海軍航空隊ハ二十九人)」ヲ「(土浦海軍航空隊ハ三十二人)」ニ改ム

海軍航空隊特別定員表其ノ七木更津ノ欄中飛行隊長中少佐「二」ヲ「二」ニ、分隊長少佐、大尉「六」ヲ「四」ニ、隊附兵科尉官「十七」ヲ「十」ニ、分隊長機關少佐、機關大尉「四」ヲ「三」ニ、隊附機關科尉官「二」ヲ「一」ニ、隊附飛行科特務士官「七十」ヲ「四十三」ニ、隊附整備特務中少尉「七」ヲ「三」ニ、飛行兵曹長「九十二」ヲ「五十四」ニ、整備兵曹長「十三」ヲ「八」ニ、兵曹「二十八」ヲ「三十六」ニ、飛行兵曹「二百二十六」ヲ「百三十六」ニ、整備兵曹「二百

「一」ヲ「百二十八」ニ、主計兵曹「十四」ヲ「十二」ニ、整備兵「七百五十二」ヲ「四百四十二」ニ、看護兵「十四」ヲ「七」ニ、主計兵「四十八」ヲ「三十一」ニ、士官「四十二人」ヲ「三十人」ニ、特務士官「八十五人」ヲ「五十四人」ニ、准士官「百十一人」ヲ「六十八人」ニ、下士官「五百六人」ヲ「三百四十九人」ニ、兵「九百四十八人」ヲ「六百十四人」ニ改ム

同表備考第四號中「六人」ヲ「三人（横濱海軍航空隊ハ六人）」ニ改ム

海軍航空隊特別定員表其ノ八中小松島ノ欄ヲ削ル

海軍航空隊特別定員表其ノ九佐世保ノ欄中飛行隊長中少佐「二」ヲ「一」ニ、分隊長少佐、大尉「八」ヲ「六」ニ、隊附兵科尉官「九」ヲ「六」ニ、分隊長機關少佐、機關大尉「五」ヲ「四」ニ、隊附機關科尉官「三」ヲ「二」ニ、隊附軍醫科尉官「二」ヲ「一」ニ、隊附主計科尉官「二」ヲ「二」ニ、隊附飛行科特務士官「二十」ヲ「十八」ニ、兵曹長「四」ヲ「三」ニ、飛行兵曹長「二十」ヲ「二十二」ニ、機關兵曹長「二」ヲ「一」ニ、工作兵曹長「二」ヲ「一」ニ、看護兵曹長「二」ヲ「一」ニ、主計兵曹長「三」ヲ「二」ニ、兵曹「三十二」ヲ「二十六」ニ、飛行兵曹「六十」ヲ「六十三」ニ、整備兵曹「八十」ヲ「六十六」ニ、機關兵曹「十」ヲ「八」ニ、工作兵曹「二十」ヲ「十八」ニ、水兵「六十六」ヲ「五十四」ニ、整備兵「四百二」ヲ「三百五十」ニ、機關

内令

五五七

0633

兵「四十三」ヲ「三十六」ニ、工作兵「二十七」ヲ「二十四」ニ、看護兵「九」ヲ「八」ニ、主計兵「三十」ヲ「二十七」ニ、士官「四十人」ヲ「三十人」ニ、特務士官「三十一人」ヲ「二十九人」ニ、准士官「四十八人」ヲ「四十一人」ニ、下士官「二百二十一人」ヲ「百九十四人」ニ、兵「五百七十七人」ヲ「四百九十九人」ニ改ム

海軍航空隊特別定員表其ノ二ノ二、同其ノ三ノ二、同其ノ八ノ二、同其ノ十三ノ二ヲ各別表ノ如ク定ム

海軍航空隊特別修兵配置表中百里原ノ項ノ次ニ北浦、名古屋及大津ノ各項ヲ、鈴鹿ノ項ノ次ニ大井ノ項ヲ、小松島ノ項ノ次ニ徳島ノ項ヲ、台南ノ項ノ次ニ新竹ノ各項ヲ夫々左ノ如ク加へ、木更津、小松島及佐世保ノ各項ヲ夫々左ノ如ク改ム

徳島	大井	大津	名古屋	北浦
一/二	一/三	一/二	一/二	一/二
一/二	一/三	一/二	一/二	一/二
二/三	三/四	一/二	〇/三	三/三
三/七	八/九	二/三	二/三	三/三
三/四	六/八	二/四	二/四	八/三
六/三	七/一〇	三/二	三/二	四/八
三/三	四/九	一/二	一/二	二/一
〇	二/二	〇	〇	一/二
一/二	六/三	〇/一	〇/一	一/二
一	三	〇	〇	〇
三/三	六/一六	三/四	三/四	六/六
一/三	二/三	一/二	一/二	〇/二
一/四	二/四	一/三	一/二	二/四
一/二	一/三	〇/二	〇/二	一/二
一/四	二/五	一/二	一/二	二/四
二/二	二/四	一/一	一/一	一/二
二/三	三/五	一/一	一/一	二/三
二/三	三/五	一/一	一/一	二/三
二/三	二/三	一/一	一/一	一/二
一/二	一/二	〇/二	〇/二	一/二
四/七	七/三	二/四	二/四	八/三
三/七	八/二	一/二	一/二	四/六
二/五	四/五	一/一	一/一	二/六
一	一	〇	〇	〇

内令

五六〇

小松島

六

三四

一五

二

(別表四葉添)

(内令提要卷一、四五六ノ八ノ一〇頁参照)

内令第五百七十三號

昭和十七年九月三十日迄別表ノ通各人員ヲ臨時増減ス

昭和十六年内令第千五百二十三號及昭和十六年内令第千五百四十五號ハ之ヲ廢止ス



昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(別表一葉添)

参照 昭和十六年内令第千五百二十三號ハ當分ノ間横須賀海軍航空隊ノ人員臨時減員ノ件、昭和十六年内令第千五百四十五號ハ當分ノ間第二十二航空戦隊ニ人員臨時増置ノ件

内令第五百七十四號

昭和十五年内令第七百五十九號中左ノ通改正ス

0686

昭和十七年内令第三十七號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設航空隊定員表其ノ一ノ三及特設航空隊定員表其ノ一ノ四ヲ各別表ノ如ク定ム
 特設航空隊定員表其ノ二中第十七ノ欄ヲ削ル

特設航空隊特修兵配置表中第十七ノ項ヲ削リ第四ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第十四	第六
一/三	一/三
二/三	二/三
三/四	三/四
四/七	四/七
五/八	三/四
六/八	四/六
四/七	五/六
五/八	〇
一/三	二/四
〇	一
五/三	六/三
一/三	一/三
二/四	二/三
一/二	一/二
二/四	二/四
二/三	三/四
三/四	二/四
三/四	三/三
三/四	三/三
三/四	三/三
二/四	二/三
一/二	一/二
五/九	五/九
三/七	三/七
三/七	二/七
四	四

(別表二表添)

参照 昭和十五年内令第七百五十九號ハ特設航空隊定員表ヲ定ムルノ件
 昭和十七年内令第三十七號ハ第十七航空隊ニ人員臨時増置ノ件

内令第五百七十五號

昭和十七年九月三十日迄左ノ通各人員ヲ臨時増減ス

内令

五六

0887

内令

五六二

昭和十六年内令第千六十八號ハ之ヲ廢止ス



昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

主計科尉官隊 附	軍醫科尉官隊 附	機關科尉官隊 附	機關少尉分隊長	兵科尉官隊 附	少佐、大尉分隊長	中少佐飛行隊長	航空隊名	
							員増	員減
一	一			七	二		第一	員増
							第三	員減
		一	一	三	一	一	第四	員増
				八	三			員減
					一	一	第十四	員増

0688

内令

掌飛行兵		特修兵	計	主計兵	看護兵	整備兵	整備兵曹	飛行兵曹	整備兵曹長	飛行兵曹長	整備特務中少尉附	飛行科特務士官隊附
偵	操											
	三		百八十八人	六	二	百五十九	十					
三十			四十八人					二十七		十二		九
	五		百十四人	四	一	七十一	十七	五	三	二	二	二
十八			十六人					六		六		四
	十二		百十七人	三	一	八十	二十二					
七	六		七十八人	三	一	四十六	十	十三		二		一

五六三

0689

内令

五六四

掌 整 備 兵		掌航空兵器兵					
		光學		雷爆		射爆	
		普	高	高	普	高	普
十九	八					十八	九
					七	三	
二十	十一					七	四
					七	四	
四十	十八	一				十七	九
十四	七					二	二

参照 昭和十六年内令第千六百八十八號ハ當分ノ間第一航空隊ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第五百七十六號

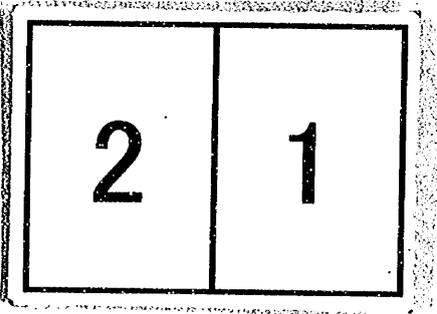
昭和十七年内令第百七十二號中「第二艦隊司令部」ヲ「第二南遣艦隊司令部」ニ、「二人」ヲ「一人（吳鎮守府在籍者）」ニ改メ昭和十七年三月十日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年四月一日

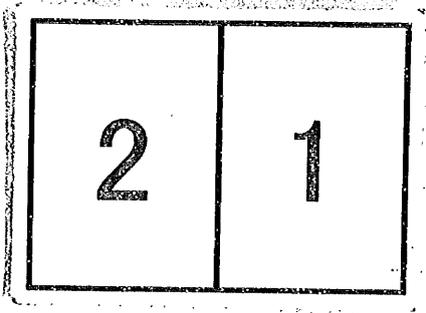
海軍大臣 嶋田繁太郎

0690

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	海軍航空隊特別定員表 其の2の2
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	海軍航空隊特別定員表 某の3の2
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

別表第一ノ三

(昭和十七年内令第五百七十四號)

計		隊 附										隊 兼主 隊 分 軍 隊 分 整 隊 分 兼通 飛行 飛行 副 副 司										特 設 航 空 隊 定 員 表 共ノ一ノ三			
特 務 士 官	士 官	主 計 特 務 中 少 尉	看 護 特 務 中 少 尉	工 作 特 務 中 少 尉	機 關 特 務 中 少 尉	整 備 特 務 中 少 尉	飛 行 科 特 務 士 官	特 務 中 少 尉	主 計 科 尉 官	主 計 中 少 佐	軍 醫 科 尉 官	軍 醫 少 佐、軍 醫 大 尉	軍 醫 中 少 佐	機 關 科 尉 官	機 關 少 佐、機 關 大 尉	機 關 中 佐	兵 科 尉 官	少 佐、大 尉	中 少 佐	中 少 佐	中 少 佐		副 官 少 佐、大 尉	副 官 中 佐	司 令 大 佐
二十八人	四十七人	一	一	一	一	八	十四	二	一	一	一	一	一	二	四	一	二十一	七	一	二	一	一	一	一	第六
兵 判 任 文 官	下 士 官	准 士 官	主 計 兵	看 護 兵	工 作 兵	機 關 兵	整 備 兵	水 兵	技 手	主 計 兵	看 護 兵	工 作 兵	機 關 兵	整 備 兵	飛 行 兵	兵 曹	主 計 兵 曹 長	看 護 兵 曹 長	工 作 兵 曹 長	機 關 兵 曹 長	整 備 兵 曹 長	飛 行 兵 曹 長	兵 曹 長	第六	
四百九十九人	二人	二百二十九人	三十九人	二十八人	八人	三十人	四十五人	三百三十九人	四十九人	二	十人	五人	二十一人	十人	百三十人	五十人	三十人	二十人	一人	一人	一人	十三人	十九人	二人	第六

0698

別表第一ノ四

特設航空隊定員表 其ノ一ノ四

(昭和十七年内令第五百七十四號)

計		隊										司令		第十四										
特務士官	士官	附										副官	副官		第十四									
特務士官	士官	主計特務中少尉	工作特務中少尉	機關特務中少尉	整備特務中少尉	整備科特務士官	飛行科特務士官	特務中少尉	主計科尉官	主計中少佐	軍醫科尉官	軍醫少佐、軍醫大尉	軍醫中少佐	軍醫科尉官		機關少佐、機關大尉	整備中佐	兵科尉官	少佐、大尉	通信中少佐	飛行中少佐	飛行中少佐	副官少佐、大尉	副官中佐
四十八人	三十二人	一	一	一	七	二	三十四	二	一	一	一	一	一	二	四	一	六	七	一	二	一	一	一	一
兵	判任文官	下士官	准士官	主計兵	看護兵	工作兵	機關兵	整備兵	水兵	技手	主計兵	看護兵	工作兵	機關兵	整備兵	飛行兵	兵曹	主計兵	看護兵	工作兵	機關兵	整備兵	飛行兵	兵曹
六百五十三人	一人	三百二人	五十九人	三十六	九	二十八	四十三	四百八十九	四十八	一	十一	五	二十一	九	百十七	百四	三十五	二	一	一	一	十三	三十九	二

0639

廢止

内令第五百七十七號

昭和十七年内令第六二五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十四航空戰隊司令部

特務士官、准士官 附 一人

内令第五百七十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一海軍航空廠

飛行科、整備科特務士官 附 一人

内令第五百七十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内令

五六五

0700

内令

五六六

昭和十七年四月二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦 高雄

兵 曹、水兵

十二人(掌砲兵 四)

軍艦 摩耶

兵 曹、水兵

三十六人(掌砲兵 高四 普八)

内令第五百八十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三南遣艦隊司令部

藥劑科佐尉官 附 一人

内令第五百八十一號

昭和十六年内令第二百六十一號中「九人」ヲ「八人」ニ、「四人」ハ救難船笠島、交通船飛鳥、工作

0701

船早瀬及小型冷凍船南海」ヲ「三人ハ救難船笠島、交通船飛鳥及工作船早瀬」ニ、「三十一人」ヲ
「三十人」ニ、「十人」ヲ「九人」ニ、「主計特務中少尉、主計兵曹長附六人」ヲ「主計特務中少尉、
主計兵曹長附五人」ニ、「九百七十七人」ヲ「九百六十五人」ニ、「二百八十八人」ヲ「二百八十三
人」ニ、「五十人」ヲ「四十九人」ニ、「六十八人」ヲ「六十五人」ニ、下士官、兵内譯ノ部佐世保
鎮守府在籍者ノ欄「四百四十四人」ヲ「四百三十二人」ニ、「百八十人」ヲ「百七十五人」ニ、「二
十人」ヲ「十九人」ニ、「三十四人」ヲ「三十一人」ニ、「掌砲兵二〇」ヲ「掌砲兵一八」ニ、「二
六」又「二四」ニ、「六八」ヲ「六五」ニ、「一五」ヲ「一四」ニ、「一九」ヲ「一六」ニ、「三」ヲ
「二」ニ、「九」ヲ「七」ニ改ム

昭和十六年内令第二百二號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 昭和十六年内令第二百六十一號ハ支那方面艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ
同年内令第二百二號ハ第四艦隊司令部（冷凍船（南進）ノ乗員ニ充ツルモノ）ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

五六七

0702

内令第五百八十三號

昭和十七年内令第九號中左ノ通改正ス

昭和十六年内令第四百十三號中「五十五人」ヲ「六十七人」ニ、「二六」ヲ「三八」ニ改ム

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

特務中少尉、兵曹長 附 三人(内佐世保鎮守府在籍者 二)

兵 曹、水 兵 四十五人(掌電信兵 四〇(内佐世保鎮守府在籍者 三〇)、
特修兵適宜(暗號)五)

機關兵曹、機關兵 八人(掌電機兵 内火 二)

參照 昭和十七年内令第九號ハ第三十二特別根據地隊ニ人員臨時増置ノ件ナリ
昭和十六年内令第四百十三號ハ第八十一通信隊ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第五百八十三號

昭和十六年内令第三百七十五號中横須賀海軍通信隊ノ部初整分遣隊ノ欄ヲ左ノ如ク改ム

0703

昭和十六年内令第千三百七十六號中横須賀海軍通信隊ノ部「十二人」ヲ「九人」ニ、「十七人」ヲ「十人」ニ、「二」ヲ「九」ニ改メ「七」ヲ削ル

昭和十六年内令第千七百六十六號中「十人」ヲ「二十人」ニ改ム

昭和十七年四月一日
海軍大臣 嶋田繁太郎

初 聲 分 遣 隊

一人
二十七日人 <small>(掌電信兵 特修兵適宜(暗號)四)</small>
一人

参照 昭和十六年内令第千三百七十五號ハ佐世保海軍通信隊等ニ人員臨時増置ノ件ナリ
同年内令第千三百七十六號ハ東京海軍通信隊等ノ人員臨時減員ノ件ナリ
同年内令第千七百六十六號ハ東京海軍通信隊ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内 令

五六九

0704

内令

五七〇

内令第五百八十四號

昭和十六年内令第千七百七十八號中「百九十一人」ヲ「百六十一人」ニ改ム

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ第三通信隊等ノ人員臨時減員ノ件ナリ

内令第五百八十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十二年内令第八百七十三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

地方海軍人事部

兵曹、機關兵曹 一人(特修兵適宜)

主計 兵曹 一人(掌理兵)

0705

参照 昭和十二年内令第八百七十三號ハ大阪地方海軍人事務等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第五百八十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十七年三月十日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一警備隊

兵 曹、水 兵

百六十五人

看護兵曹、看護兵

三人

(特修兵適宜)

主計兵曹、主計兵

十二人

内令第五百八十七號

昭和十七年内令第四百四十五號中左ノ通改正ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

五七一

0706

「主計少佐、主計大尉 海軍軍用 郵便監督官 兼務一人」ノ前ニ「機關少佐、機關大尉 海軍軍用 郵便監督官 兼務一人」ヲ加フ

参照 昭和十七年内令第四百十五號ハ馬公海軍港務部ニ海軍軍用郵便監督官兼務一人臨時増員等ノ件ナリ

内令第五百八十八號

昭和十六年内令第四百十六號中左ノ通改正ス

昭和十七年四月一日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

別表吳鎮守府ノ部小松島海軍航空隊ノ項ノ次ニ

徳島海軍航空隊 (通) 一

ヲ加ヘ襟裳ノ項ヲ削ル

同佐世保鎮守府ノ部香椎ノ項「(運)一」ヲ「(通)一」ニ、^本「伊號第六十潜水艦」ヲ「伊號第六十

潜水艦」ニ改ム

参照 前記内令ハ艦船部隊ノ科長兼分隊長候員中當該科ノ分隊長ヲ臨時増員ノ件ナリ

0707